

1月10日

見よ。世の罪を取り除く神の子羊  
ヨハネ1章29節

ヨハネ1:29

その翌日、ヨハネは自分のほうに  
イエスが来られるのを見て言った。  
「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」

元旦礼拝では詩篇23篇から  
「主は私の羊飼い。  
私は、乏しいことはありません。」

3日の礼拝では  
ヨハネ10章から  
「わたしは良い牧者。  
よい牧者は羊のためにいのちを捨てます」  
いのちを捨てて羊を守る  
イエス様を学びました。

今日はよき羊飼、イエス様が  
どのようにして私たちを導き、守り  
憩いの水のほとりに伴ってくださるかを  
学んでいきたいと思ひます。

## 詩篇23:1-3

【主】は私の羊飼いです。

私は、乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ、  
いこいの水のほとりに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ、

御名のために、

私を義の道に導かれます。

主は私たちの羊飼いですから  
私たちは乏しいことはありません。  
どんな意味で乏しくないと  
告白しているのでしょうか。

私たちには 精神的な乏しさ。

金銭的な乏しさ。

健康面での乏しさ。

知恵、能力の乏しさ。

人間関係での乏しさ。

愛、赦し、心の乏しさ。

未来への希望の乏しさ。

でも、私には乏しいことはありません、  
と告白しています。

主が私の羊飼いであるから。



**23:2 主は私を緑の牧場に伏させ、  
いこいの水のほとりに伴われます。**

## 緑の牧場

若草、青草、羊の糧

主は私たちに肉の糧、霊の糧を豊かに  
与えてくださいます。

み言葉から霊の糧を  
いっぱいいただきましょう。  
乏しさに打ち勝ちましょう。

憩いの水のほitori。  
いつまでも乾かないいのちの水。  
聖霊の満たし

ヨハネ4:13

イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渇きます。

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

23:3 主は私のたましいを生き返らせ、  
御名のために、私を義の道に導かれます。

主は死んでいた私たちの魂を  
生き返らせてくださいます。  
復活のイエス様を  
信じることにより、  
神様と霊的につながって  
生きるものとしてくださいました。

見よ。世の罪を取り除く神の子羊

ヨハネ1章29節

羊飼いであるイエス様は  
神様のいけにえの子羊となったださって  
私たちの魂を死より、罪より  
生き返らせてくださり  
義の道を歩ませてください。

神の子羊と聞くとイスラエルの人々はみな  
過ぎ越しの時にいけにえとして  
殺された羊を思いました。

モーセに導かれてイスラエルの民が  
エジプトの地を出る時、かたくななパロに神様は  
10の裁きを下され、最後の最大のさばきは  
エジプトのすべての家の初子を殺すというさばき  
でした。

このさばきからイスラエルを救うために  
初子が殺される代わりに  
子羊を殺して、そのしるしとして  
血潮を門柱と鴨居に塗り

その肉を火で焼いて家族で食べました。

身代わりの子羊をささげた家の初子は  
死をまぬかれました。子羊が身代わりに殺された  
からです。初子を殺す主の使いはその家を過ぎこ  
されました。



この過ぎ越しの祭りをイスラエルは  
子々孫々と守ってきました。

イエス様は十字架につかれる前の晩、  
弟子たちを集めて最後の晩餐をされました。

## マタイ26:26

また、彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福した後、これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取って食べなさい。これはわたしのからだです。」

26:27 また杯を取り、感謝をささげて後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。」

26:28 これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。

ピリポはイザヤ53章を引用してイエス様は  
私たちの罪のために身代わりに死んでくださった  
ことをエチオピアの役人に語っています。

使徒8:32

「ほふり場に連れて行かれる羊のように、また、  
黙々として毛を刈る者の前に立つ小羊のように、  
彼は口を開かなかった。

8:33 彼は、卑しめられ、そのさばきも取り上げら  
れた。彼の時代のことを、だれが話すことができ  
ようか。彼のいのちは地上から取り去られたので  
ある。」

罪なき神の子イエス様は、いけにえの子羊、  
過ぎ越しの子羊、神の子羊となって十字架で  
私たちの罪の身代わりをなって死んで、  
私たちの罪を赦してくださいました。  
イスラエルの人々は門柱、鴨居に血潮を塗り、  
子羊の肉を焼いて食べました。  
食べることは信じて受け入れること、  
血潮を見える門柱に塗ることは  
信仰の告白を表しています。

私たちも自分の罪を認め、身代わりに十字架で死んでくださったイエス様を信じて心の中に迎え入れ、信じていることを証しする、告白することで、神様の子としていただいて、豊かな神様の恵みを受けることができます。

このようにイエス様を信じ受け入れることを  
通して心から  
「主は私の羊飼いです。  
私は乏しいことはありません。」  
と告白することができます。

この一年、またこれからのちの限り  
主は私の羊飼いです。

わたしには乏しいことがないと告白し、  
この素晴らしい羊飼いのもとに  
多くの方が立ち帰るように祈りましょう。

祈り



天の父なる神様、御子イエス様を、神の子羊、過ぎ越しの子羊としてこの世に送ってくださったことを心から感謝します。

イエス様の十字架の赦しを心から信じます。

信仰の証しがしっかりとできるようにこの年も導いてください。

主の緑の牧場で、主の養いを受け、神の家族の交わりを喜ばせてください。

多くの方々がこの牧場に導かれて主の恵みにあずかって行かれるように私たちを用いてください。アーメン。